

微生物検査学演習

単位数：1単位(15時間)

責任者：専任教員
学年・学期：第3学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

本演習は微生物検査学を対象する。臨床検査技師国家試験出題基準に沿って学習し、臨床検査技師として医療の場において、微生物検査の業務を実践できる知識を修得することを目的とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 総論：A.微生物の分類, B.細菌の構造, C.消毒・滅菌, D.染色法, E.薬剤感受性, F.遺伝子, G.毒素, H.感染症分類
2. 細菌：A.好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌, B.好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌, C.通性嫌気性グラム陰性桿菌, D.好気性グラム陰性桿菌, E.微好気性菌, F.好気性グラム陽性有芽胞桿菌, G.好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌, H.グラム陽性抗酸性桿菌, I.嫌気性グラム陽性球菌, J.嫌気性グラム陰性球菌, K.嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌, L.嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌, M.嫌気性グラム陰性桿菌, N.スピロヘータ, O.マイコプラズマ, P.リケッチア, Q.クラミジア
3. 真菌：A.糸状菌, B.皮膚糸状菌, C.二形性真菌, D.酵母様真菌
4. ウイルス：A.DNAウイルス, B.RNAウイルス
5. 検査法：A.無菌操作技術, B.検体検査法とその技術, C.検体材料別細菌検査法, D.嫌気性菌, E.抗酸菌, F.真菌, G.ウイルス, H.免疫学的検査法, I.遺伝子検査法, J.迅速診断技術, K.検査に関与する機器
6. 微生物検査結果の評価

◆学習方法

前期：各自の臨地実習の実施状況に合わせたグループ学習及び小テストを行う。
後期：出題基準に沿って教科書を中心にプリント、プロジェクター等を用いて講義形式で行う。

◆評価方法

前期の小試験、中間試験(授業内)、定期試験による総合評価。

◆教科書

臨床検査学講座 『臨床微生物学』 医歯薬出版(株)

◆参考書

臨床検査技師国家試験問題集 日本臨床検査学教育協議会編 医歯薬出版(株)
臨床検査技師国家試験ファースト・トレーニング 医歯薬出版(株)
月刊メディカルテクノロジー別冊 染色法のすべて 赤尾 信吉 他筆 医歯薬出版(株)
臨床検査法提要 金井正光 編著 金原出版

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	総論	微生物の分類, 細菌の構造, 消毒・滅菌, 染色法	専任教員
2		薬剤感受性, 遺伝子, 毒素, 感染症分類	
3	各論①	好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌, 好気性・通性嫌気性グラム陰性球菌, 通性嫌気性グラム陰性桿菌, 好気性グラム陰性桿菌, 微好気性菌,	〃
4		好気性グラム陽性有芽胞桿菌, 好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌, グラム陽性抗酸性桿菌,	
5	各論②	嫌気性グラム陽性球菌, 嫌気性グラム陰性球菌, 嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌,	〃
6		嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌, 嫌気性グラム陰性桿菌 スピロヘータ, マイコプラズマ, リケッチア, クラミジア	
7	真菌	糸状菌, 皮膚糸状菌, 二形性真菌, 酵母様真菌	〃
8	ウイルス	DNAウイルス, RNAウイルス	
9	検査法	各検査法について	〃
10			